

「改訂新版 登録販売者 合格教本」正誤表 改訂新版 第3刷

(2016年2月1日更新)

書籍の内容に誤りのあったことを、本書をお買いあげいただいた読者の皆様および関係者の方々に謹んでお詫びいたします。

p.28 「(1) 医薬品は異物」の5行目

誤	健康を害するがあります。
正	健康を害する こ とがあります。

p.31 問題 1-1-11 の1行目

誤	薬物暴露時間と曝露量
正	薬物暴露時間と 暴 露量

p.38 「6 妊娠・授乳中の配慮」の1行目

誤	妊婦中は、
正	妊 娠 中は、

p.39 問題 1-2-23

誤	<u>問題 1-2-23</u> プラセポ効果には、
正	<u>問題 1-2-23</u> プラセ ポ 効果には、

p.43 上から1行目

誤	HIV ; Human Immunodeticiency Virus
正	HIV ; Human Immunode f iciency Virus

p.77 問題 2-3-6 の1行目

誤	中毒性表皮壊死症
正	中毒性表皮壊死 融 解症

p.88 下から5行目

誤	中毒性表皮壊死症等の重症型薬疹
正	中毒性表皮壊死 融 解症等の重症型薬疹

p.89 問題 2-3-60 の 1 行目

誤	中毒性表皮壊死症に進行する
正	中毒性表皮壊死融解症に進行する

p.106 「(1) 抗ヒスタミン成分 (ジフェンヒドラミン塩酸塩)」の上から 4 行目

誤	妊娠または妊娠していると思われる女性は
正	妊婦または妊娠していると思われる女性は

p.106 「(2) ブロムワレリル尿素、アリルイソプロピルアセチル尿素」の上から 5 行目

誤	妊娠または妊娠している可能性のある人は
正	妊婦または妊娠している可能性のある人は

p.108 「3 相互作用」の上から 5 行目

誤	使用を避ける必要がります
正	使用を避ける必要があります

p.108 「3 相互作用」の下から 3 行目

誤	他の鎮静作があるとされる
正	他の鎮静作用があるとされる

p.134 中央の「・センナ、センノシド、ダイオウ」の「注意」の文章の1行目

誤	センナおよびセンノシドが配合された瀉下薬については、妊婦中の女性は、
正	センナおよびセンノシドが配合された瀉下薬については、妊娠中の女性は、

p.141 「(2) 坐剤」の上から 1 行目

誤	ビザコジル
正	ビサコジル

p.162 (1) 女性ホルモン成分

誤	人工合成された女性ホルモンであるエチニルエストラジオール、エストラジオールを補充するもので、
正	人工合成された女性ホルモンであるエチニルエストラジオールは、エストラジオールを補充するもので、

p.175 問題 3-7-16 の問題文 1 行目

誤	「十味敗毒湯」の読み 「とうみはいどくとう」
正	「十味敗毒湯」の読み 「じゅうみはいどくとう」

p.250 「2 配置販売業」の上から 2 行目

誤	「先用後利」の読み 「さきようごり」
正	「先用後利」の読み 「せんようごり」

p.298 「(1)【次の人は使用(服用)しないこと】」の上から 2 行目

誤	中毒性表皮壊死症、喘息等
正	中毒性表皮壊死融解症、喘息等

p.299 問題 5-1-50 の 1 行目

誤	中毒性表皮壊死症があげられ
正	中毒性表皮壊死融解症があげられ

p.300 問題 5-1-62 の 1 行目

誤	中毒性表皮壊死症があげられている
正	中毒性表皮壊死融解症があげられている

p.314 (1) 給付の種類 上から 3 行目

誤	請求期限は、医療費、医療手当が 2 年以内、
正	請求期限は、医療費、医療手当が 5 年以内、

別冊 p.6 問題 2-3-8 の 3 行目 (p.77 問題 2-3-8 の解答)

誤	中毒性表皮壊死症
正	中毒性表皮壊死融解症

別冊 p.8 問題 3-1-30 (p.97 問題 3-1-30 の解答)

誤	問題 3-1-30 × 1 回 40mg、1 日 200mg まで。
正	問題 3-1-30 × 1 日の最大服用量が 40mg まで、医薬品としては 1 日 200mg まで。

別冊 p.29 問題 5-1-63 (p.300 問題 5-1-63 の解答)

誤	×
正	○

別冊 p.30 問題 5-1-81 (p.303 問題 5-1-81 の解答)

誤	○ 記述の通り
正	× コデインリン酸塩は「相談すること」ではなく、「してはいけない」項目に記載されていて、「授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること」となっている。

誤字をご指摘いただきました読者様に心から感謝を申し上げます。

技術評論社 書籍編集部